

同志社大学商学部父母会 東北支部 2026年度父母懇談会報告書

東北支部 支部長 横戸 誠恭

2026年9月5日（土）、仙都会館（仙台市）にて、6名の参加者のもと、東北支部父母懇談会を開催致しました。

◆ 父母親睦会 11:30～12:30

支部長挨拶に引き続き、お弁当を食べながら、大学生活や子供の帰省方法等幅広い話題について、ざっくばらんに情報交換を行いました。大学がある京都とは、距離的に遠く離れた東北の地で、子供が同志社大学を志望した理由などについて、少人数のおかげで会話がはずみ、交流が図られ大いに盛り上がりました。



◆ 父母懇談会 12:45～13:50

渡会父母会副会長の進行のもと、松木本会理事から「父母懇談会」、「父母のための就職セミナー」、「父母のための一日大学」など、父母会の活動について、ユーモアを交えながら説明がありました。



その後、久納誠矢先生より、商学部のカリキュラム、単位の取り方、ゼミ活動などについての教務説明がありました。本題に入る前のアイスブレイクのトークが盛り上がり過ぎて太田原先生からのツッコミが入る場面などもありましたが（笑）、大学生活で注意すべき点などの説明に対し、特に1年生の保護者が真剣に聞き入っていました。

続いて、太田原準先生からは、「地域BCPにおける関係資本の形成と実装～ホームセンターを拠点とした地域レジリエンスの実証研究～」について講演をいただきました。

令和8年度熊本地震や千葉市を中心とした豪雨災害など、直近でも大きな災害が相次いでいる中、太田原ゼミが取り組んでいるホームセンターをハブとした、自主防災会との連携についてのモデル事業の説明がありました。

ホームセンター屋上駐車場で展開しているプランターによる防災農園の運営・収穫等を通じた学生・農家・自主防災会等のコミュニケーションの活発化や線状降水帯発生時の、浸水区域を避けた避難所までの移動経路探索アプリの開発など、学術と行動力を掛け合わせた勉強となっていました。大変興味のある講演内容で、ここ東北においては、東日本大震災の記憶などもあり、みなさん真剣に聞き入っていました。



◆ 教員との座談会 14:00～15:00

2グループに分かれて、それぞれ大学生活や就職活動等について、先生方とお話する機会が設けられました。就職活動や留学に関する相談などの本題のほか、先生と保護者、子供同士が同年代ということで、大いに盛り上がりました。

就職活動についてのアドバイスや、留学するうえでの留意点など具体的なお話をお聞きすることができ、大変参考になりました。



◆ 父母懇談会を終えて

初めて参加された保護者の方も、少人数のリラックスした雰囲気の中、お弁当を食べながら和気あいあいと交流できたおかげで、積極的に質問ができ、先生方からは有益なお話をいただけるなど、みなさん大変満足した様子でした。

今後も東北から遠い関西の地に子供を送り出している保護者同志、不安なことなど情報共有できたらと思います。

当父母会は、6月の開催予定が、季節外れの台風により延期となってしまいましたが、今回、無事開催できたことに安堵しております。延期での開催にあたり、本会役員、事務局の方々に、日程の再調整など、多大なるご労苦をいただいたことに感謝申し上げます。

結びに、ご参加いただいたご父母の皆様ならびに父母懇談会開催にあたりご協力いただきました皆様に改めて深く感謝致します。ありがとうございました。

